第33回 大人のための朗読会

しまなみ朗読会「わすれな草」

風に揺れるコスモスが、秋の気配を感じさせる季節となりました。今回の朗読会は、彩り豊かな文学の玉手箱。古典、ショートショート、こころにしみわたる文芸作品など、言葉の織りなす美しい世界を、しまなみ朗読会「わすれな草」のみなさんが、朗読でお届けいたします。
土曜の午後は、朗読で心豊かなひとときを。

平成30年10月13日（土） 入場無料 中学生以上

場　所　尾道市民センターむかいしま『ココロ』文化ホール
時　間　13時30分～15時00分　（開場13時00分）
主　催　向島子ども図書館「わくわく」　お問い合せ　0848（44）0114

※当日は駐車場が大変混雑いたします。自転車・公共交通機関の利用・自動車の乗り合わせ等、ご協力ください。

《プログラム》

『枕草子』　清少納言　作

平安時代に書かれたわが国最初の随筆文学。一条天皇の中宮定子に仕えていた頃の宮仕えの体験などを、人生や自然・事物を鋭敏な感覚で描く。源氏物語と並ぶ平安女流文学の双璧とされる。

※春はあけぼの	川本　君子	小川　満江
※胸のどきどきするもの	佐藤　泉	砂田　悦子
※めったにないもの	佐藤　泉	角田美奈子
※はらはらして困るもの	佐藤　泉	小川　満江
※風に吹かれて	川本　君子	砂田　悦子

第３１回朗読会　2018.3.3

「愛の酒場」　阿刀田　高　作

短編・ブラックユーモア・ショートショートの名手として多くの作品を発表。心地よい、脳をくすぐるショートショートをお楽しみください。

＊新井　寿美子

『角筈（つのはず）にて』　浅田　次郎　作

エリートサラリーマンの悲哀、彼を支え続ける妻との情愛、幼い自分を捨て去っていった父への恋々とした想い。世知辛いこの時代、宝物のような、切なくて、優しくて、温かいお話におもわず涙が…。

＊砂田　悦子　　＊小川　満江　　＊角田　美奈子　　＊川本　君子

次回は2019年2月23日（土）です